

## ① 本町の公共施設老朽化と更新計画について

1970年前後に建設された公共施設などが大量に更新時期を迎えることが全国的に問題となっています。本町でもさまざまなインフラ長寿命化計画がなされ、昨年10月には「長与町公共施設個別施設計画」がなされました。そこで以下の点について質問します

- (1) 長与町ふれあいセンターと長与町ふれあいセンター体育館は、今後10年程で目標使用年数に達するが、計画では令和9年度から方向性の検討を行うこととなっている。更新に向けた検討はもっと早める必要があると考えるがどうか。また、高田地区コミュニティ活動推進会議の拠点施設であることから、早い段階から地区コミュニティや住民との意見交換の場を持つことが必要と考えるがどうか。
- (2) 「長与町公共施設個別施設計画」では目標使用年数を65年とされていますが、「長与町学校施設の長寿命化計画」では、学校施設の目標使用年数は80年となっています。この15年の差の根拠は何か。
- (3) 高田小学校は1967年に建築され、築53年になる鉄筋コンクリート造りの建物であるが、大規模な建物であるので、最適な施工方法や配置などを目指すには早い段階から検討を始めるべきと考えるがどうか。

## ② 粗大ごみ拠点回収の廃止について

令和4年度から自治会における粗大ごみの拠点回収が廃止され、「戸別有料回収」と「個人でのクリーンパーク長与への持ち込み」に集約されることとなっています。しかしながら多くの住民にとって、この2つの方法はなじみのないものであると思われます。そこで以下の質問をする。

- (1) 「戸別有料回収」と「個人でのクリーンパーク長与への持ち込み」の方法の周知についての考えはどうか。
- (2) 粗大ごみ拠点回収の廃止をきっかけに、道路脇や山中などへのごみの不法投棄が増加しないか心配しています。現状のごみの不法投棄の対策と対応はどのようなものがあるか。